

株主のみなさまへ

# 第101期 報告書

平成21年1月1日～平成21年12月31日



昭和電工株式会社



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
当社第101期(平成21年度)の報告書をお届けするにあたり、  
一言ご挨拶申し上げます。

### 厳しい経営環境が続きました。

当期のわが国経済は、世界経済の急速な悪化の影響を受け、年前半の輸出、生産は極めて低水準となりました。年後半には、アジア向け輸出の増加や世界的な在庫調整の進展等により、生産の持ち直しの動きがみられたものの、個人消費の低迷、急激な為替相場の変動等によって、厳しい環境が続きました。

このような情勢下、当社グループは、長期的・持続的成長に向けた基盤をより強固なものとするため、選択と集中による事業構造改革と財務体質強化に鋭意取り組みました。

しかしながら、化学・非鉄金属業界、電子部品・材料業界の事業環境は、年後半に需要回復の動きはありましたが、年前半の電子部品、自動車等の大幅な生産調整と在庫調整の長期化等もあり、総じて非常に厳しい状況が続きました。

この結果、当期の連結営業成績につきましては、売上高は、6,782億4百万円と前期比32.4%

の減収となりました。損益面におきましては、営業損失は、49億83百万円と前期比317億75百万円の減益、経常損失は、223億25百万円と前期比321億17百万円の減益、当期純損失は、アルミニウム事業等の構造改革による特別損失の計上もあり、379億81百万円と前期比404億32百万円の減益となりました。

期末配当につきましては、前期から2円減配の1株につき3円とさせていただきます。

### 設備投資387億円 有利子負債残高3,739億円

当期の設備投資につきましては、電気自動車向けリチウムイオン電池用黒鉛負極材「SCMG<sup>®</sup>」の生産能力増強、環境への負荷が少ない溶剤である酢酸ノルマルプロピル生産設備の新設を完了いたしました。

さらに、その他の設備増強、合理化、生産維持、環境保全等の工事を実施し、当期の設備投資総額は、387億円となりました。

当期の資金調達につきましては、金融機関か

らの借入金およびコマーシャル・ペーパーの発行による資金調達に加え、成長分野の展開加速と基盤事業の強化に向けた資本の充実を図るため、公募増資およびハイブリッドファイナンスにより613億円の資金調達を行いました。

公募増資による調達資金は、主に電子・情報等の成長事業および育成事業の拡大ならびに石油化学等基盤事業の強化のための設備投資に充当いたします。またハイブリッドファイナンスによる調達資金は、有利子負債の返済に充当いたしました。

この結果、当期末の有利子負債残高は、前期末に比べ190億円減少し、3,739億円となりました。

## 「プロジェクト・パッション」の 総仕上げの年といたします。

今後のわが国の経済見通しにつきましては、アジア向け輸出の増加や世界的な在庫調整の進展による回復の動きはあるものの、厳しい雇用情勢、個人消費の低迷、円高の進行、海外経済の下振れ懸念等によって、景気の不透明感は依然として強く、引き続き極めて厳しい企業経営環境が予想されます。

当社グループは、平成22年度を連結中期経営計画「プロジェクト・パッション」の総仕上げの年と位置づけ、成長回帰に向けた抜本的な事業の見直しや生産体制の最適化等の構造改革を断行してまいります。

さらに、当社グループは、平成23年度を初年度とする次期連結中期経営計画を策定し、引き

続き既存事業の改革を実行するとともに、「エネルギー」、「環境・資源」、「情報・電子」を中核事業領域とする次世代成長事業群の創出を図り「個性派化学」を一段と進化させることで、豊かさを持続性が調和した社会の創造に貢献してまいります。

また、当社グループは、CSR(企業の社会的責任)を全ての事業活動の基本におき、コーポレート・ガバナンスの充実、コンプライアンスおよびリスク管理の強化を重要な経営課題と認識し、社会と市場での高い信頼と評価を得る企業グループの実現を目指してまいります。このため取締役会は、業務執行の監視監督機能に、より一層重点をおく体制とし、業務執行においては、意思決定権限の一部を経営会議に委譲するなど、迅速な意思決定を可能とする運営を推進してまいります。

当社グループは、社会的に有用で安全性に配慮した技術や製品およびサービスを開発、提供し、社会の健全な発展に貢献してまいります。また、安全の確保に万全を期すとともに、省資源、省エネルギーならびに産業廃棄物および化学物質排出量の削減に努め、地球環境の保全に積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、何とぞ格別のご理解をいただき、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長

高橋恭平

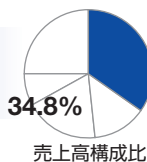
## 石油化学部門

売上高

2,359億99百万円 (前期比41.0%減)

営業利益

79億92百万円 (前期比92億73百万円増益)



オレフィン事業は、6月以降、稼働率は高水準で推移したものの、原料ナフサ価格下落に伴う販売価格低下により減収となりました。有機化学品事業は、原料価格下落に伴う販売価格低下等に加え、高純度テレフタル酸向け酢酸の販売撤退による販売数量減少により減収となりました。

### ■昭和高分子株式会社との合併を決定

当社は、平成22年7月1日に連結子会社である昭和高分子株式会社と合併することを決定いたしました。両社の持つ人材・技術・組織・投資といった経営資源を融合し、機能性高分子事業の成長・育成を加速させてまいります。

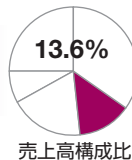
## 化学品部門

売上高

918億87百万円 (前期比1.5%減)

営業利益

4億46百万円 (前期比48億83百万円減益)



酸素、窒素、水素等は、増収となりましたが、アクリロニトリル、アンモニアは、販売数量の減少により減収となりました。合成ゴム「ショウブレン®」は、自動車向け販売数量が減少し減収となりました。

### ■昭和炭酸株式会社を完全子会社化

当社は、平成21年12月24日に連結子会社である昭和炭酸株式会社を完全子会社といたしました。当社と昭和炭酸株式会社は、産業ガス事業の基盤強化に向け、両社の持つ経営資源を迅速かつ効率的に活用できる体制を構築し、競争力強化を図るとともに、アジア地域における事業展開を加速いたします。

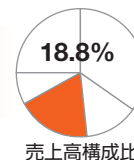
## 電子・情報部門

売上高

1,278億7百万円 (前期比32.3%減)

営業損失

97億75百万円 (前期比190億34百万円減益)



ハードディスクは、第2四半期以降、販売数量は急回復しましたが、第1四半期における顧客の大幅な在庫調整の影響を受け減収となりました。化合物半導体、半導体向け特殊ガス、レアアース磁石合金についても、販売数量の減少により減収となりました。

### ■昭和電工HD山形株式会社を発足

当社は、平成21年7月1日に富士通株式会社より八





昭和電工HD山形株式会社

ードディスク生産会社の全株式を譲り受け、昭和電工HD山形株式会社を発足させました。これにより当社のハードディスク生産は、千葉県、山形県、台湾、シンガポールの世界4拠点体制となり、世界最大のハードディスク外販メーカーとして、最先端の技術で市場の大容量化ニーズに対応してまいります。

### ■先端電池材料部の新設

当社は、需要が拡大するリチウムイオン電池向け部材の研究開発から製造、販売までを一元的に集約する先端電池材料部を、平成21年9月に新設いたしました。

高機能リチウムイオン電池に採用されている正・負極添加材「VGCF®」や、すでに複数社の電気自動車用途向けに採用実績がある黒鉛負極材「SCMG®」など、技術革新が進む先端電池材料分野における研究開発の高度化を進め、お客様のニーズに的確にお応えしてまいります。

大電流の使用と電池の長寿命化が可能となる黒鉛負極材「SCMG®」については、当期以降に約20億円の投資を行い、大町事業所の生産能力を現状の年間1,000トンから平成24年には3,000トンに引き上げます。

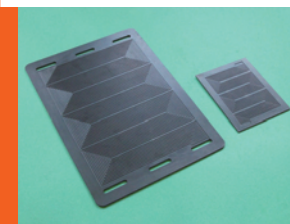
また、車載用大型リチウムイオン電池向け材料として、高温安定性と電池の劣化原因となる水との反応がないという特長を有する新電解質を利用した、

電解液事業に参入することを決定いたしました。

### ■固体高分子形燃料電池用部材の開発

当社は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の酸化物系非貴金属触媒プロジェクトに参加し、平成21年7月に固体高分子形燃料電池の大幅なコストダウンや長寿命化を可能とする白金代替触媒の開発に成功いたしました。

また、同月、NEDOの支援により、電池の高出力化を可能とするカーボンセパレーターの大幅なコストダウンを実現する技術の開発に成功いたしました。製

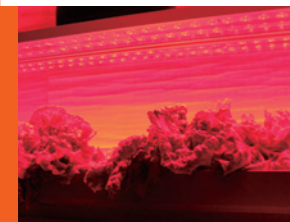


バイポーラ型カーボンセパレーター

造工程や原料の大幅な見直しによる生産技術の確立により、低コスト化や軽量化を実現するとともに、出力密度も約30%増加しております。

### ■世界最高出力の植物育成用4元系赤色LED素子を開発

当社は、植物育成に最適な波長光を世界最高出力（当社推定）で発する4元系赤色LED素子の開発に成功し、平成21年4月より量産を開始いたしました。



植物育成用4元系赤色LED

同LED素子は、5月には経済産業省の完全制御型植物工場モデル施設の光源として採用されました。

■有機EL素子で世界トップクラスの光取り出し効率40%を達成

当社は、新構造を採用した塗布りん光型高分子有機EL素子において、平成21年7月に世界トップクラスとなる約40%の光の取り出し効率を達成いたしました。塗布りん光型高分子有機EL素子は、今後、照明等の分野での実用化が大きく期待されております。



塗布りん光型高分子有機EL素子

無機部門

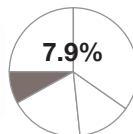
売上高

537億11百万円 (前期比39.5%減)

営業利益

36億3百万円 (前期比156億41百万円減益)

人造黒鉛電極事業は、長引く在庫調整の影響を受け、日本、米国とも減収となりました。セラミックス事業は、顧客業界の需要回復の遅れにより減収となりました。



売上高構成比

アルミニウム他部門

売上高

1,687億99百万円 (前期比27.5%減)

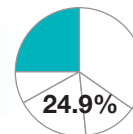
営業損失

42億17百万円 (前期比40億6百万円減益)

アルミニウム地金は、外販の大幅縮小により減収となりました。圧延品事業は、年央からコンデンサー用高純度箔の需要が急回復しましたが、前半の急激な需要の落ち込みによる販売数量減少を補えず減収となりました。押出・機能材事業においても、レーザービームプリンター用アルミニウムシリンダー、汎用押出品の販売数量減少により減収となりました。また、熱交換器事業およびショウティック事業は、自動車向け販売数量が減少しそれぞれ減収となりました。アルミニウム缶は、販売数量の増加により増収となりました。

■アルミニウム汎用押出材事業からの撤退と人員削減による合理化を実施

当社は、アルミニウム事業の構造改革の実行による競争力強化のため、建材向けを中心とする汎用押出材事業からの撤退と人員削減による合理化を実施いたしました。



売上高構成比

## 社会貢献企業実現に向けて ～社会の持続的成長への貢献～

当社グループは製品・サービス・事業を通じて社会から評価・信頼される企業グループ「社会貢献企業」を目指して、CSR(企業の社会的責任)を推進しております。

当社グループは、【2015年の昭和電工グループCSRのあるべき姿】を定め、2009年・2010年の方針に基づき、「社会貢献企業の実現」を目指してまいります。

### 【2015年の昭和電工グループCSRのあるべき姿】

- 社員の多様性を尊重しつつ、「社会の持続的発展」に貢献する価値観とモチベーションを共有していく。
- 環境保全、気候変動(地球温暖化)をリスクと捉えるのみではなくチャンスとしても捉えていく。
- 社員が自社の製品・事業の社会への貢献を語るができるようになる。

### 2009年・2010年昭和電工グループCSR方針

#### ■国内外全グループにおけるCSRの実践

CSR室と海外法人の現地での情報交換を実施し、課題の抽出とグループ横断的取り組み



大洋昭和汽車空調(大連)でのCSRヒアリング

および個別テーマの解決を図っていきます。

#### ■ステークホルダーとのCSR対話充実

製品や施設の見学会、研究開発センターでの公開実験等を通じて、当社グループの製品、事業活動を皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。



研究開発センターでの公開実験



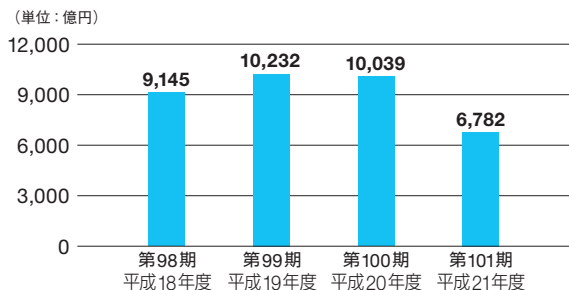
川崎プラスチックケミカルリサイクル工場見学

#### ■CSR基盤の継続的な強化

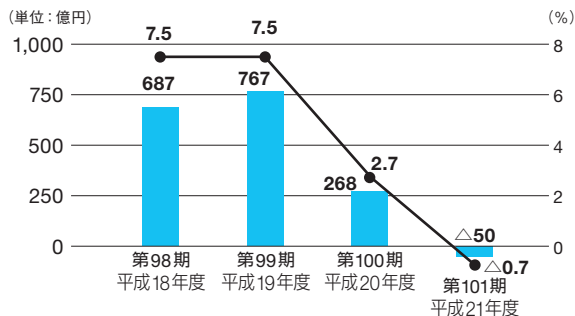
- ①コンプライアンス体制の維持と発展
- ②総合的リスクマネジメントの推進
- ③レスポンシブル・ケア活動の深化

# 連結業績ハイライト

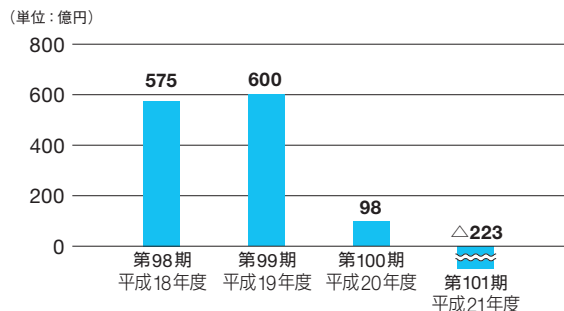
## 売上高



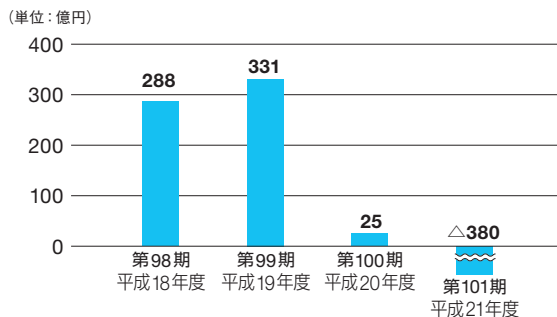
## 営業損益・売上高営業利益率



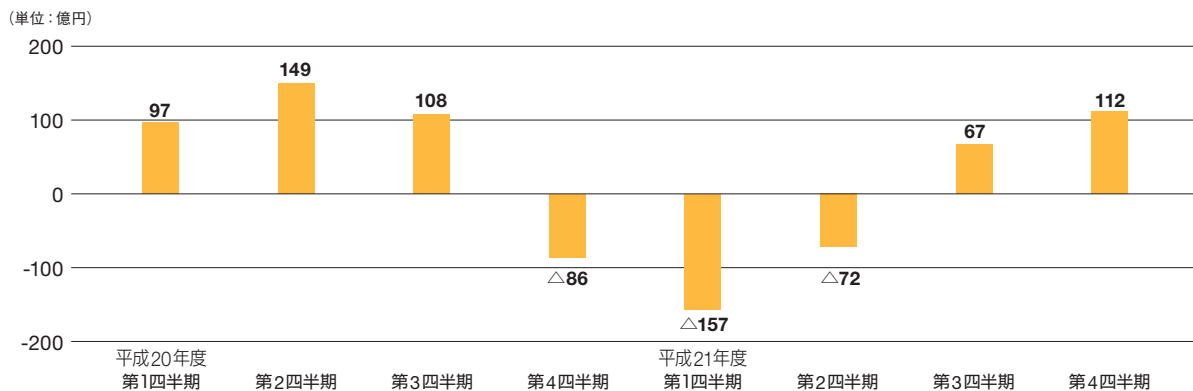
## 経常損益



## 当期純損益



## 営業損益四半期推移





連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	(単位:百万円)	
	当期 平成21年12月31日現在	前期 平成20年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>332,650</b>	<b>321,657</b>
現金及び預金	62,514	40,954
受取手形及び売掛金	147,579	117,190
たな卸資産	92,333	117,749
繰延税金資産	4,631	5,877
その他	26,152	40,837
貸倒引当金	△ 559	△ 950
<b>固定資産</b>	<b>625,653</b>	<b>640,353</b>
有形固定資産	504,273	531,633
無形固定資産	13,554	13,042
のれん	3,832	3,511
その他	9,722	9,531
投資その他の資産	107,826	95,677
投資有価証券	65,084	65,623
繰延税金資産	27,671	17,624
その他	15,984	13,613
貸倒引当金	△ 914	△ 1,182
<b>資産合計</b>	<b>958,303</b>	<b>962,010</b>

(単位:百万円)

科目	(単位:百万円)	
	当期 平成21年12月31日現在	前期 平成20年12月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>353,958</b>	<b>363,774</b>
支払手形及び買掛金	116,553	140,427
借入金・社債・コマーシャルペーパー	162,463	160,165
その他	74,942	63,182
<b>固定負債</b>	<b>317,624</b>	<b>332,777</b>
借入金・社債	211,448	232,750
繰延税金負債	6,819	6,399
再評価に係る繰延税金負債	45,896	45,994
退職給付引当金	27,088	28,659
その他	26,372	18,976
<b>負債合計</b>	<b>671,581</b>	<b>696,551</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>231,925</b>	<b>232,822</b>
資本金	140,564	121,904
資本剰余金	62,225	37,945
利益剰余金	29,311	73,146
自己株式	△ 174	△ 173
<b>評価・換算差額等</b>	<b>12,172</b>	<b>7,805</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>42,625</b>	<b>24,832</b>
<b>純資産合計</b>	<b>286,722</b>	<b>265,459</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>958,303</b>	<b>962,010</b>

## 連結財務諸表

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで	平成20年1月1日から 平成20年12月31日まで
売上高	678,204	1,003,876
売上原価	597,766	888,462
売上総利益	80,438	115,414
販売費及び一般管理費	85,420	88,622
営業利益又は損失(△)	△ 4,983	26,792
営業外収益	5,166	6,610
営業外費用	22,508	23,609
経常利益又は損失(△)	△ 22,325	9,793
特別利益	6,637	12,980
特別損失	28,424	16,480
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	△ 44,112	6,292
法人税、住民税及び事業税	3,674	5,344
法人税等調整額	△ 10,664	△ 2,451
少数株主利益	860	949
当期純利益又は純損失(△)	△ 37,981	2,451
一株当たり当期純利益又は損失(△)	△ 29.44円	1.96円

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで	平成20年1月1日から 平成20年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,846	61,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,595	△ 44,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,402	△ 3,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 95	△ 5,336
現金及び現金同等物の増減額	21,558	7,911
現金及び現金同等物の期首残高	40,949	31,887
その他の現金及び現金同等物の増減額	—	1,152
現金及び現金同等物の期末残高	62,507	40,949

### 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで	株 主 資 本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成20年12月31日残高	121,904	37,945	73,146	△ 173	232,822	7,805	24,832	265,459
在外子会社の会計処理の 変更に伴う増減			268		268			268
連結会計年度中の変動額								
新株の発行	18,660	18,660			37,319			37,319
株式交換による増加		5,620			5,620			5,620
剰余金の配当			△ 6,239		△ 6,239			△ 6,239
当期純損失			△ 37,981		△ 37,981			△ 37,981
その他			117	△ 2	116			116
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						4,367	17,793	22,160
連結会計年度中の変動額合計	18,660	24,280	△ 44,103	△ 2	△ 1,165	4,367	17,793	20,995
平成21年12月31日残高	140,564	62,225	29,311	△ 174	231,925	12,172	42,625	286,722

### 連結決算対象会社

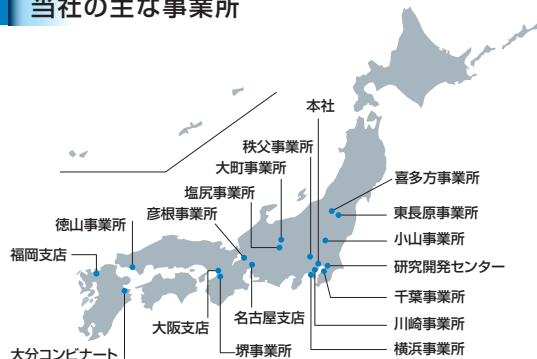
連結子会社数：41社

持分法適用会社数(関連会社を含む)：18社

会社概要 (平成21年12月31日現在)

社 名 昭和電工株式会社  
 英 文 社 名 Showa Denko K.K.  
 本 社 〒105-8518  
 東京都港区芝大門一丁目13番9号  
 電話(03)5470-3111(総務グループ)  
 設 立 昭和14年6月  
 資 本 金 1,405億64百万円  
 従業員数(連結) 11,564名  
 ホームページ <http://www.sdk.co.jp/>

当社の主な事業所



当社グループの海外拠点



役員 (平成22年3月26日現在)

取締役・監査役

代表取締役社長兼社長執行役員 高橋 恭平  
 代表取締役兼専務執行役員 井本 憲邦  
 取締役兼専務執行役員 野村 一郎  
 取締役兼専務執行役員 坂井 伸次  
 取締役兼常務執行役員 大井 敏夫  
 取締役兼常務執行役員 塚本 建次  
 取締役兼常務執行役員 市川 秀夫  
 ※取 締 役 秋山 智史  
 常 勤 監 査 役 伊藤 博  
 常 勤 監 査 役 柏田 邦夫  
 ※監 査 役 糸田 省吾  
 ※監 査 役 手塚 裕之  
 ※監 査 役 小原 之夫

執行役員

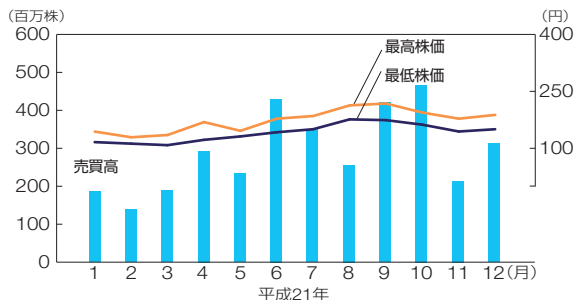
常務執行役員 宮崎 孝  
 常務執行役員 白石 俊一  
 常務執行役員 村田 安通  
 常務執行役員 坂本 明  
 執行役員 佐藤 勝信  
 執行役員 小鍛治直史  
 執行役員 海老沼 彰  
 執行役員 鯉沼 晃  
 執行役員 酒井 仁和  
 執行役員 福田 俊司  
 執行役員 岩崎 廣和  
 執行役員 牧 昌和  
 執行役員 水野 義治  
 執行役員 天野 賢  
 執行役員 遠藤 政宏  
 執行役員 Robert C. Whitten

(注) ※印の取締役および監査役は、社外役員であります。

株式の状況 (平成21年12月31日現在)

発行可能株式総数..... 3,300,000,000株  
 発行済株式総数..... 1,497,112,926株  
 株主数..... 121,863名

株式データ





## 株主メモ

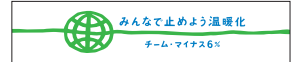
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
株主確定基準日	(1)定時株主総会・期末配当 12月31日 (2)中間配当 6月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
公告掲載方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う。 公告掲載URL <a href="http://www.sdk.co.jp/contents/investment_info/index.htm">http://www.sdk.co.jp/contents/investment_info/index.htm</a>
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先) 電話お問い合わせ	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-288-324

## 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社へお願いいたします。株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)へ預託されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記のみずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話お問い合わせ先へお願いいたします。

## ご案内

当社は、「単元未満株式の買増制度」を導入しております。  
1単元(1,000株)に満たない株式をご所有の株主様は、単元未満株式と併せて1単元になる株式を買増請求することができます。お手続きなどの詳細については、当社株主名簿管理人(みずほ信託銀行)へお問い合わせください。  
なお、単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取扱いいたします。



昭和電工は、環境省の主催する地球温暖化防止活動の趣旨に賛同し、全社で温室効果ガス削減活動に取り組んでいます。



昭和電工はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます。



適切に管理された森林資源を用紙の材料にしています。



大豆油を主体とする植物油溶剤のインキを使用しています。



含有する石油系溶剤を植物油溶剤にほぼ100%置き換えたNON-VOC(揮発性有機化合物ゼロ)インキを使用しています。



IPA(インプロピルアルコール)等の有害物質を含む「湿し水」を使わない水なし印刷を採用し、VOCの発生を大幅に削減しています。



色覚の個人差を問わず出されるだけ多くの方にしやすいユニバーサルデザインにしています。

表紙：4元系赤色LEDを使用した植物工場